

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記入門 I
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的(基礎編)</li> <li>2 簿記一巡(基礎編)</li> <li>3 商品売買Ⅰ(基礎編)</li> <li>4 商品売買Ⅱ(基礎編)</li> <li>5 決算整理(基礎編)</li> <li>6 精算表(基礎編)</li> <li>7 現金および預金(基礎編)</li> <li>8 手形(基礎編)</li> <li>9 有形固定資産の決算整理(基礎編)</li> <li>10 その他の債権および債務(基礎編)</li> <li>11 その他の勘定および訂正仕訳(基礎編)</li> <li>12 有形固定資産の決算整理(基礎編)</li> <li>13 費用および収益の決算整理(基礎編)</li> <li>14 株式会社の純資産(基礎編)</li> <li>15 英米式決算法(基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総論(基礎編)</li> <li>2 収益と費用(基礎編)</li> <li>3 棚卸資産(基礎編)</li> <li>4 現金預金(基礎編)</li> <li>5 債権・債務等(基礎編)</li> <li>6 有価証券①(基礎編)</li> <li>7 有価証券②(基礎編)</li> <li>8 固定資産①(基礎編)</li> <li>9 固定資産②(基礎編)</li> <li>10 固定資産③(基礎編)</li> <li>11 固定資産④(基礎編)</li> <li>12 為替換算会計①(基礎編)</li> <li>13 為替換算会計②(基礎編)</li> <li>14 引当金(基礎編)</li> <li>15 法人税等①(基礎編)</li> <li>16 法人税等②(基礎編)</li> <li>17 株式会社の純資産(基礎編)</li> <li>18 企業結合(基礎編)</li> <li>19 確認テスト(第1回)</li> <li>20 株主資本等変動計算書(基礎編)</li> <li>21 連結会計①(基礎編)</li> <li>22 連結会計②(基礎編)</li> <li>23 連結会計③(基礎編)</li> <li>24 連結会計④(基礎編)</li> <li>25 連結会計⑤(基礎編)</li> <li>26 連結会計⑥(基礎編)</li> <li>27 本支店会計(基礎編)</li> <li>28 製造業を営む会社の決算処理</li> <li>29 伝票と帳簿(基礎編)</li> <li>30 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 工業簿記の基礎(基礎編)</li> <li>2 個別原価計算の手続き(基礎編)</li> <li>3 材料費会計(基礎編)</li> <li>4 労務費会計(基礎編)</li> <li>5 経費会計(基礎編)</li> <li>6 製造間接費会計(基礎編)</li> <li>7 製造間接費差異の原因別分析(基礎編)</li> <li>8 単純個別原価計算Ⅰ(基礎編)</li> <li>9 単純個別原価計算Ⅱ(基礎編)</li> <li>10 工企業の財務諸表(基礎編)</li> <li>11 工業簿記総まとめ①(基礎編)</li> <li>12 部門別計算Ⅰ(基礎編)</li> <li>13 部門別計算Ⅱ(基礎編)</li> <li>14 確認テスト(第1回)</li> <li>15 工業簿記総まとめ②(基礎編)</li> <li>16 総合原価計算の手続き(基礎編)</li> <li>17 単純総合原価計算(基礎編)</li> <li>18 減損および仕損(基礎編)</li> <li>19 工程別総合原価計算(基礎編)</li> <li>20 組別総合原価計算(基礎編)</li> <li>21 等級別総合原価計算(基礎編)</li> <li>22 標準原価計算Ⅰ(基礎編)</li> <li>23 標準原価計算Ⅱ(基礎編)</li> <li>24 標準原価計算Ⅲ(基礎編)</li> <li>25 工業簿記総まとめ③(基礎編)</li> <li>26 CVP分析Ⅰ(基礎編)</li> <li>27 CVP分析Ⅱ(基礎編)</li> <li>28 直接原価計算(基礎編)</li> <li>29 工業簿記総まとめ④(基礎編)</li> <li>30 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合 I
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業回数	45回
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 商業簿記総まとめ⑬(基礎編) 14 商業簿記総まとめ⑭(基礎編) 15 商業簿記総まとめ⑮(基礎編) 16 工業簿記総まとめ①(基礎編) 17 工業簿記総まとめ②(基礎編) 18 工業簿記総まとめ③(基礎編) 19 工業簿記総まとめ④(基礎編) 20 工業簿記総まとめ⑤(基礎編) 21 工業簿記総まとめ⑥(基礎編) 22 工業簿記総まとめ⑦(基礎編) 23 工業簿記総まとめ⑧(基礎編) 24 工業簿記総まとめ⑨(基礎編) 25 工業簿記総まとめ⑩(基礎編) 26 工業簿記総まとめ⑪(基礎編) 27 工業簿記総まとめ⑫(基礎編) 28 工業簿記総まとめ⑬(基礎編) 29 工業簿記総まとめ⑭(基礎編) 30 工業簿記総まとめ⑮(基礎編) 31 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 32 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習⑧(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習⑨(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑩(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑪(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑫(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑬(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑭(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑮(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	3級商業簿記基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90時間(3単位)
授業回数	45回
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的</li> <li>2 簿記一巡</li> <li>3 株式会社の資本</li> <li>4 商品売買Ⅰ(商品売買、3分法、売掛金・買掛金)</li> <li>5 商品売買Ⅱ(返品、分記法)</li> <li>6 商品売買Ⅲ(仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券)</li> <li>7 決算①(繰越商品および仕入の決算整理)</li> <li>8 決算②(決算整理後残高試算表)</li> <li>9 決算③(精算表)</li> <li>10 現金および預金Ⅰ(現金、普通預金、当座預金)</li> <li>11 現金および預金Ⅱ(複数口座の管理、当座借越)</li> <li>12 手形および電子記録債権・債務</li> <li>13 確認テスト(第1回)</li> <li>14 商業簿記総まとめ①</li> <li>15 決算④(受取手形および売掛金の決算整理)</li> <li>16 有形固定資産</li> <li>17 決算⑤(有形固定資産の決算整理)</li> <li>18 その他の債権および債務Ⅰ(未収入金・未払金)</li> <li>19 その他の債権および債務Ⅱ(クレジット売掛金、手形貸付金・借入金)</li> <li>20 その他の債権および債務Ⅲ(仮払金・仮受金、差入保証金)</li> <li>21 その他の収益および費用</li> <li>22 決算⑥(費用および収益の決算整理)</li> <li>23 税金</li> <li>24 決算⑦(その他の決算整理)</li> <li>25 その他の勘定および訂正仕訳</li> <li>26 損益計算書および貸借対照表Ⅰ</li> <li>27 損益計算書および貸借対照表Ⅱ</li> <li>28 確認テスト(第2回)</li> <li>29 主要簿と補助簿</li> <li>30 現金出納帳および当座預金出納帳</li> <li>31 仕入帳・売上帳</li> <li>32 商品有高帳</li> <li>33 手形記入帳</li> <li>34 試算表の作成</li> <li>35 伝票会計①</li> <li>36 伝票会計②</li> <li>37 確認テスト(第3回)</li> <li>38 商業簿記総まとめ②</li> <li>39 商業簿記総まとめ③</li> <li>40 商業簿記総まとめ④</li> <li>41 商業簿記総まとめ⑤</li> <li>42 商業簿記総まとめ⑥</li> <li>43 商業簿記総まとめ⑦</li> <li>44 商業簿記総まとめ⑧</li> <li>45 商業簿記総まとめ⑨</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	3級簿記総合
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間(4単位)
授業回数	60回
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 商業簿記総まとめ⑬(基礎編) 14 商業簿記総まとめ⑭(基礎編) 15 商業簿記総まとめ⑮(基礎編) 16 商業簿記総まとめ①(応用編) 17 商業簿記総まとめ②(応用編) 18 商業簿記総まとめ③(応用編) 19 商業簿記総まとめ④(応用編) 20 商業簿記総まとめ⑤(応用編) 21 商業簿記総まとめ⑥(応用編) 22 商業簿記総まとめ⑦(応用編) 23 商業簿記総まとめ⑧(応用編) 24 商業簿記総まとめ⑨(応用編) 25 商業簿記総まとめ⑩(応用編) 26 商業簿記総まとめ⑪(応用編) 27 商業簿記総まとめ⑫(応用編) 28 商業簿記総まとめ⑬(応用編) 29 商業簿記総まとめ⑭(応用編) 30 商業簿記総まとめ⑮(応用編) 31 総合問題対策① 32 総合問題対策② 33 総合問題対策③ 34 総合問題対策④ 35 総合問題対策⑤ 36 総合問題対策⑥ 37 総合問題対策⑦ 38 総合問題対策⑧ 39 総合問題対策⑨ 40 総合問題対策⑩ 41 総合問題対策⑪ 42 総合問題対策⑫ 43 総合問題対策⑬ 44 総合問題対策⑭ 45 総合問題対策⑮ 46 総合問題演習① 47 総合問題演習② 48 総合問題演習③ 49 総合問題演習④ 50 総合問題演習⑤ 51 総合問題演習⑥ 52 総合問題演習⑦ 53 総合問題演習⑧ 54 総合問題演習⑨ 55 総合問題演習⑩ 56 総合問題演習⑪ 57 総合問題演習⑫ 58 総合問題演習⑬ 59 総合問題演習⑭ 60 総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート基礎	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業回数	45回	
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 企業活動① 2 企業活動② 3 法務① 4 法務② 5 経営戦略マネジメント① 6 経営戦略マネジメント② 7 技術戦略マネジメント① 8 技術戦略マネジメント② 9 ビジネスインダストリ① 10 ビジネスインダストリ② 11 システム戦略① 12 システム戦略② 13 システム企画① 14 システム企画② 15 システム開発技術① 16 システム開発技術② 17 ソフトウェア開発管理技術① 18 ソフトウェア開発管理技術② 19 プロジェクトマネジメント① 20 サービスマネジメント① 21 サービスマネジメント② 22 システム監査① 23 システム監査② 24 基礎理論① 25 基礎理論② 26 アルゴリズムとプログラミング① 27 アルゴリズムとプログラミング② 28 コンピュータ構成要素① 29 コンピュータ構成要素② 30 システム構成要素①	31 ソフトウェア① 32 ソフトウェア② 33 ハードウェア① 34 ヒューマンインターフェース① 35 マルチメディア① 36 データベース① 37 データベース② 38 データベース③ 39 ネットワーク① 40 ネットワーク② 41 ネットワーク③ 42 セキュリティ① 43 セキュリティ② 44 セキュリティ③ 45 セキュリティ④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 OAコース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする□	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト□	
備考		



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITリテラシ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①
	2	コンピュータシステムの構成②
	3	コンピュータシステムの構成③
	4	ネットワークテクノロジー①
	5	ネットワークテクノロジー②
	6	ネットワークテクノロジー③
	7	ネットワークの構築と運用①
	8	ネットワークの構築と運用②
	9	ネットワークの構築と運用③
	10	ネットワークの構築と運用④
	11	情報セキュリティ①
	12	情報セキュリティ②
	13	情報セキュリティ③
	14	情報セキュリティ④
	15	情報セキュリティ⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の挿入、設定</li> <li>2 グラフの挿入、書式設定①</li> <li>3 グラフの挿入、書式設定②</li> <li>4 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>5 SmartArtの挿入、書式設定②</li> <li>6 メディアの挿入、管理①</li> <li>7 メディアの挿入、管理②</li> <li>8 画面切り替えの設定①</li> <li>9 画面切り替えの設定②</li> <li>10 アニメーションの設定①</li> <li>11 アニメーションの設定②</li> <li>12 複数のコンテンツの結合①</li> <li>13 複数のコンテンツの結合②</li> <li>14 プレゼンテーションの保護、共有①</li> <li>15 プレゼンテーションの保護、共有②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザイン I	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	スーツの着こなし
	2	身だしなみ
	3	敬語の使い方
	4	良く聞かれる質疑応答①
	5	良く聞かれる質疑応答②
	6	筆記試験とは(一般常識試験)①
	7	筆記試験とは(一般常識試験)②
	8	筆記試験とは(適性検査試験)①
	9	筆記試験とは(適性検査試験)②
	10	作文の目的・形式と内容①
	11	作文の目的・形式と内容②
	12	作文の実践テクニック①
	13	作文の実践テクニック②
	14	作文の実践テクニック③
	15	作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ワークシートやブックの作成と管理①</li> <li>2 ワークシートやブックの作成と管理②</li> <li>3 セルやセル範囲のデータの管理①</li> <li>4 セルやセル範囲のデータの管理②</li> <li>5 テーブルの作成①</li> <li>6 テーブルの作成②</li> <li>7 テーブルの作成③</li> <li>8 関数を使用してのデータ集計①</li> <li>9 関数を使用してのデータ集計②</li> <li>10 関数を使用してのデータ集計③</li> <li>11 関数を使用しての条件付き計算④</li> <li>12 関数を使用しての条件付き計算⑤</li> <li>13 関数を使用しての条件付き計算⑥</li> <li>14 関数を使用した文字列の整形や変更①</li> <li>15 関数を使用した文字列の整形や変更②</li> <li>16 関数を使用した文字列の整形や変更③</li> <li>17 グラフの作成①</li> <li>18 グラフの作成②</li> <li>19 グラフの作成③</li> <li>20 グラフの書式設定①</li> <li>21 グラフの書式設定②</li> <li>22 グラフの書式設定③</li> <li>23 グラフの書式設定④</li> <li>24 グラフの書式設定⑤</li> <li>25 オブジェクトの挿入や書式設定①</li> <li>26 オブジェクトの挿入や書式設定②</li> <li>27 オブジェクトの挿入や書式設定③</li> <li>28 オブジェクトの挿入や書式設定④</li> <li>29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤</li> <li>30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	色彩基礎 I
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	色に関する幅広い知識の学習と技能の習得
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	色彩に関する基本的な事柄を理解する
教科書	テキスト及び問題集
特記	色彩検定3級合格を目指します
授業計画	1 色のはたらき 2 ファッションとは 3 インテリアと色彩 4 色彩と生活 5 色の表示① 6 色の表示② 7 光と色 8 色彩心理 9 色彩調和① 10 色彩調和② 11 ファッションとは色彩 12 インテリアのカラーコーディネート 13 色彩と構成 14 問題演習 1 15 問題演習 2 16 問題演習 3 17 問題演習 4 18 問題演習 5 19 問題演習 6 20 問題演習 7 21 問題演習 8 22 問題演習 9 23 問題演習 10 24 問題演習 11 25 問題演習 12 26 検定対策 27 検定対策 28 検定対策 29 検定対策 30 検定対策
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅡ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	業務理解	
授業の進め方	業界研究をしながら、企業の方から実務に関する説明を受ける	
達成目標	業務理解を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1 就職活動の進め方 2 業界研究①(講演会準備) 3 企業講演会(メーカー) 4 業界研究②(講演会準備) 5 企業講演会(小売業) 6 業界研究③(講演会準備) 7 企業講演会(アパレル) 8 業界研究④(講演会準備) 9 企業講演会(スポーツ) 10 業界研究⑤(講演会準備) 11 企業講演会(メーカー) 12 業界研究⑥(講演会準備) 13 企業講演会(小売業) 14 業界研究まとめ 15 レポート作成	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業回数	45回	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③	31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識応用	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業回数	45回	
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディ스플레이① 20 ディ스플레이② 21 ディ스플레이③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥	31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己PR作成①
	5	自己PR作成②
	6	自己PR作成③
	7	面接質問項目①
	8	面接質問項目②
	9	面接質問項目③
	10	会計事務所・企業研究①
	11	会計事務所・企業研究②
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析 1
	2	自己分析 2
	3	企業研究 1
	4	企業研究 2
	5	電話応対トレーニング 1
	6	電話応対トレーニング 2
	7	電話応対トレーニング 3
	8	電話応対トレーニング 4
	9	電話応対トレーニング 5
	10	電話応対トレーニング 6
	11	電話応対トレーニング 7
	12	電話応対トレーニング 8
	13	電話応対トレーニング 9
	14	電話応対トレーニング 10
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事研究・グループ討議1
	2	時事研究・グループ討議2
	3	時事研究・グループ討議3
	4	時事研究・グループ討議4
	5	時事研究・グループ討議5
	6	時事研究・グループ討議6
	7	時事研究・グループ討議7
	8	時事研究・グループ討議8
	9	時事研究・グループ討議9
	10	時事研究・グループ討議10
	11	時事研究・グループ討議11
	12	時事研究・グループ討議12
	13	時事研究・グループ討議13
	14	時事研究・グループ討議14
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	出会った時のあいさつ
	2	初対面の人と話す
	3	人を紹介する
	4	別れる時のあいさつ
	5	お礼を言う
	6	おわびをする
	7	依頼する
	8	許可を求める
	9	賛成・同意する
	10	反対・否定する
	11	聞き返す
	12	あいづちをうつ
	13	発話①
	14	発話②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営法務入門
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2 国際社会に関する事例学習① 3 国際社会に関する事例学習② 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する事例学習 6 労働環境に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9 経営に関する事例学習① 10 経営に関する事例学習② 11 IT社会に関する基礎用語 12 IT社会に関する事例学習① 13 IT社会に関する事例学習② 14 AIに関する基礎用語 15 AIに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	英会話 基礎	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	販売接客に関連する基本的な英会話の事例を元に学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	場面別英会話
	2	場面別英会話
	3	場面別英会話
	4	場面別英会話
	5	場面別英会話
	6	場面別英会話
	7	場面別英会話
	8	場面別英会話
	9	場面別英会話
	10	場面別英会話
	11	場面別英会話
	12	場面別英会話
	13	場面別英会話
	14	場面別英会話
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは</li> <li>2 グループディスカッションの役割</li> <li>3 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>4 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>6 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>7 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>8 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>9 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>10 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>11 資料読み取り型グループディスカッション③</li> <li>12 フェルミ推定</li> <li>13 KJ法</li> <li>14 その他特殊型①</li> <li>15 その他特殊型②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	一般的なビジネス文書の作成①
	5	一般的なビジネス文書の作成②
	6	一般的なビジネス文書の作成③
	7	シンプルなレポートや報告書の作成①
	8	シンプルなレポートや報告書の作成②
	9	シンプルなレポートや報告書の作成③
	10	表、画像、図形を使った文書の作成(1)①
	11	表、画像、図形を使った文書の作成(1)②
	12	表、画像、図形を使った文書の作成(1)③
	13	表、画像、図形を使った文書の作成(1)④
	14	表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤
	15	表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校と職場の違い①</li> <li>2 学校と職場の違い②</li> <li>3 職場のマナー①</li> <li>4 職場のマナー②</li> <li>5 仕事の進め方①</li> <li>6 仕事の進め方②</li> <li>7 報告、連絡、相談①</li> <li>8 報告、連絡、相談②</li> <li>9 挨拶①</li> <li>10 挨拶②</li> <li>11 笑顔、お辞儀①</li> <li>12 笑顔、お辞儀②</li> <li>13 敬語①</li> <li>14 敬語②</li> <li>15 応対の基本①</li> <li>16 応対の基本②</li> <li>17 電話応対①</li> <li>18 電話応対②</li> <li>19 電話応対③</li> <li>20 効果測定①</li> <li>21 効果測定②</li> <li>22 効果測定③</li> <li>23 キャリア講演会 1</li> <li>24 キャリア講演会 2</li> <li>25 キャリア講演会 3</li> <li>26 キャリア講演会 4</li> <li>27 キャリア講演会 5</li> <li>28 キャリア講演会 6</li> <li>29 キャリア講演会 7</li> <li>30 振り返り</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技・筆記による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方 1
	6	漢字の意味・使い方 2
	7	漢字の意味・使い方 3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習1
	3	電卓実践演習2
	4	電卓実践演習3
	5	電卓実践演習4
	6	電卓実践演習5
	7	電卓実践演習6
	8	電卓実践演習7
	9	電卓実践演習8
	10	電卓実践演習9
	11	電卓実践演習10
	12	電卓実践演習11
	13	電卓実践演習12
	14	電卓実践演習13
	15	電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	文化リテラシーⅢ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	日本文化を理解する(知る)	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	他国の文化や簡単な言語の習得	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	自己紹介
	2	時事研究①
	3	時事研究②
	4	時事研究③
	5	時事研究④
	6	グループディスカッション①
	7	グループディスカッション②
	8	グループディスカッション③
	9	グループディスカッション④
	10	発表・ディベート①
	11	発表・ディベート②
	12	発表・ディベート③
	13	発表・ディベート④
	14	発表・ディベート⑤
	15	発表・ディベート⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員	○ 企業・団体
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	販売・流通関係の企業から実務家を招き、実務に必要な知識を講義する
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 確認テスト① 16 成功事例から学ぶマーケティング 17 成功事例から学ぶマーケティング 18 成功事例から学ぶマーケティング 19 成功事例から学ぶマーケティング 20 成功事例から学ぶマーケティング 21 成功事例から学ぶマーケティング 22 成功事例から学ぶマーケティング 23 成功事例から学ぶマーケティング 24 成功事例から学ぶマーケティング 25 成功事例から学ぶマーケティング 26 成功事例から学ぶマーケティング 27 成功事例から学ぶマーケティング 28 成功事例から学ぶマーケティング 29 成功事例から学ぶマーケティング 30 成功事例から学ぶマーケティング
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間(3単位)	
授業回数	45回	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 訪問の流れ① 20 訪問の流れ② 21 訪問の流れ③ 22 演習① 23 演習② 24 演習③ 25 商談の進め方① 26 商談の進め方② 27 商談の進め方③ 28 商品説明① 29 商品説明② 30 商品説明③	31 演習① 32 演習② 33 演習③ 34 接遇マナーとは① 35 接遇マナーとは② 36 接遇マナーとは③ 37 接遇の流れ① 38 接遇の流れ② 39 接遇の流れ③ 40 演習① 41 演習② 42 演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	150時間(5単位)	
授業回数	75回	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 業界分析① 2 業界分析② 3 業界分析③ 4 業界分析④ 5 情報収集① 6 情報収集② 7 情報収集③ 8 情報収集④ 9 店舗分析① 10 店舗分析② 11 店舗分析③ 12 店舗分析④ 13 店舗見学① 14 店舗見学② 15 店舗見学③ 16 店舗見学④ 17 課題抽出① 18 課題抽出② 19 課題抽出③ 20 課題抽出④ 21 課題抽出⑤ 22 課題抽出⑥ 23 課題抽出⑦ 24 課題抽出⑧ 25 仮説① 26 仮説② 27 仮説③ 28 仮説④ 29 調査・検証① 30 調査・検証② 31 調査・検証③ 32 調査・検証④ 33 調査・検証⑤ 34 調査・検証⑥ 35 調査・検証⑦ 36 企画案作成① 37 企画案作成② 38 企画案作成③ 39 企画案作成④ 40 企画案作成⑤ 41 企画案作成⑥ 42 企画案作成⑦ 43 企画案作成⑧ 44 企画案作成⑨ 45 企画案作成⑩	46 企画案作成⑪ 47 企画案作成⑫ 48 中間発表① 49 中間発表② 50 中間発表③ 51 中間発表④ 52 中間発表⑤ 53 中間発表⑥ 54 中間発表⑦ 55 中間発表⑧ 56 再検証① 57 再検証② 58 再検証③ 59 再検証④ 60 再検証⑤ 61 再検証⑥ 62 再検証⑦ 63 再検証⑧ 64 最終発表① 65 最終発表② 66 最終発表③ 67 最終発表④ 68 最終発表⑤ 69 最終発表⑥ 70 最終発表⑦ 71 最終発表⑧ 72 代表によるコンテストの実施① 73 代表によるコンテストの実施② 74 代表によるコンテストの実施③ 75 代表によるコンテストの実施④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文章の作成と管理①</li> <li>2 文章の作成と管理②</li> <li>3 文章の作成と管理③</li> <li>4 表作成の基本操作①</li> <li>5 表作成の基本操作②</li> <li>6 表作成の基本操作③</li> <li>7 表、画像、図形を使った文書の作成(2)①</li> <li>8 表、画像、図形を使った文書の作成(2)②</li> <li>9 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③</li> <li>10 見やすく使いやすい表にする編集操作①</li> <li>11 見やすく使いやすい表にする編集操作②</li> <li>12 見やすく使いやすい表にする編集操作③</li> <li>13 見やすく使いやすい表にする編集操作④</li> <li>14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤</li> <li>15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員	—	
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業回数	15回	
授業概要	Word: 長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel: 目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word: 段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel: 複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	数式・関数を活用した集計表の作成①
	5	数式・関数を活用した集計表の作成②
	6	数式・関数を活用した集計表の作成③
	7	ワークシート間の集計①
	8	ワークシート間の集計②
	9	ワークシート間の集計③
	10	グラフの基本①
	11	グラフの基本②
	12	グラフの基本③
	13	目的に応じたグラフの作成と編集①
	14	目的に応じたグラフの作成と編集②
	15	目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 データベース機能の利用①</li> <li>5 データベース機能の利用②</li> <li>6 データベース機能の利用③</li> <li>7 データの抽出①</li> <li>8 データの抽出②</li> <li>9 データの抽出③</li> <li>10 ピボットテーブル①</li> <li>11 ピボットテーブル②</li> <li>12 ピボットテーブル③</li> <li>13 マクロによる作業の自動化①</li> <li>14 マクロによる作業の自動化②</li> <li>15 マクロによる作業の自動化③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業回数	15回
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 時事レポート1 2 時事レポート2 3 時事レポート3 4 時事レポート4 5 時事レポート5 6 時事レポート6 7 時事レポート7 8 時事レポート8 9 時事レポート9 10 時事レポート10 11 時事レポート11 12 時事レポート12 13 時事レポート13 14 時事レポート14 15 時事レポート15
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営管理入門
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業のライフステージ①</li> <li>2 企業のライフステージ②</li> <li>3 経営理念と経営戦略①</li> <li>4 経営理念と経営戦略②</li> <li>5 経営企画の必要性、事業承継①</li> <li>6 経営企画の必要性、事業承継②</li> <li>7 中小企業の資金調達①</li> <li>8 中小企業の資金調達②</li> <li>9 企業を取り巻くリスク①</li> <li>10 企業を取り巻くリスク②</li> <li>11 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析①</li> <li>12 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析②</li> <li>13 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析③</li> <li>14 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析④</li> <li>15 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑤</li> <li>16 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑥</li> <li>17 利益管理、予算管理①</li> <li>18 利益管理、予算管理②</li> <li>19 企業形態としての会社、株式会社の機関①</li> <li>20 企業形態としての会社、株式会社の機関②</li> <li>21 株式の譲渡と相続、株主総会①</li> <li>22 株式の譲渡と相続、株主総会②</li> <li>23 取締役、代表取締役、取締役会①</li> <li>24 取締役、代表取締役、取締役会②</li> <li>25 会社の事業の拡大と整理①</li> <li>26 会社の事業の拡大と整理②</li> <li>27 コンプライアンス経営の実践①</li> <li>28 コンプライアンス経営の実践②</li> <li>29 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇①</li> <li>30 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15回
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは①</li> <li>2 グループディスカッションとは②</li> <li>3 グループディスカッションの役割①</li> <li>4 グループディスカッションの役割②</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>6 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>7 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>8 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>9 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>10 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>11 KJ法①</li> <li>12 KJ法②</li> <li>13 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>14 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>15 資料読み取り型グループディスカッション③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英語
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	英文法の基本事項を学習し、読解力も身につけながら、ビジネスシーンで必要となる基礎英語を中心に学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	身近な話題について英語でのコミュニケーション力を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ①英語の原則 ②代名詞の格 ③関係代名詞</li> <li>2 ①英語の原則 再確認 ②時・条件を表す副詞節についての導入</li> <li>3 ①各品詞の役割 ②時・条件を表す副詞節についての解説</li> <li>4 ①英語のしくみ(各品詞の働き、自動詞・他動詞について)</li> <li>5 ①付加疑問文・感嘆文・命令文</li> <li>6 ①第5文型(O=S、C=Vのパターン)</li> <li>7 ①前置詞 ②長文内での代名詞が何を指しているか ③基本時制(時制の一致)</li> <li>8 ①基本時制、変化形</li> <li>9 ①平叙文、基本時制、変化形の再確認</li> <li>10 ①状態動詞、動作動詞について ②動名詞・代名詞の格の確認</li> <li>11 ①5文型、文の要素など ②受動態のポイント「0の数が1個減る」</li> <li>12 ①助動詞 ②have to と mustの違いについて ③可算名詞、不可算名詞の違い</li> <li>13 ①5W1Hについて</li> <li>14 リスニング①</li> <li>15 ①序数について ②分数について</li> <li>16 ①形容詞節についての復習 ②完全、不完全についての復習 ③than, asは接続詞</li> <li>17 リスニング②</li> <li>18 ①単数のものを指すのに、複数形の名詞など ②イギリス英語とアメリカ英語の違い</li> <li>19 ①先行詞の復習 ②完全、不完全の復習 ③文型についての確認</li> <li>20 リスニング③</li> <li>21 ①単複同形の名詞などについて ②イギリス英語とアメリカ英語の違い</li> <li>22 ①第5文型(OがS、CがVの関係) ②tillとbyの違いや、betweenとamongの違いについて</li> <li>23 リスニング④</li> <li>24 ①発音記号の読み方 ②‘l’と‘r’の音の違いについて</li> <li>25 ①厳密なS=Cの関係が条件 ②他動詞 ③M(修飾語句)の説明。</li> <li>26 ①基本時制を確認後、変化形を調べる ②受動態(0の数が減る)や自動詞・他動詞</li> <li>27 ①動名詞や分詞について ②複合問題(前置詞と受動態など)の復習</li> <li>28 ①関係詞について(完全・不完全やwhatについて)</li> <li>29 ①比較、形容詞の語順について</li> <li>30 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	体育
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実技
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	体育の総合演習を通して、実技及び理論の学習を行うとともに、スポーツを通じた運動の意義を理解する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な事故の体育能力の把握とその維持増進
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 スポーツの概念と歴史</li> <li>3 スポーツとは何かーその発生と展開</li> <li>4 各種スポーツの理解と安全</li> <li>5 各種スポーツの実践①</li> <li>6 各種スポーツの実践②</li> <li>7 各種スポーツの実践③</li> <li>8 各種スポーツの実践④</li> <li>9 各種スポーツの実践⑤</li> <li>10 初歩動作から一人すべり スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー</li> <li>11 八の字から連続回転</li> <li>12 連続回転からパラレル</li> <li>13 パラレルターン リズム・タイミング・コース取り</li> <li>14 八の字と平行を組み合わせるⅠ</li> <li>15 八の字と平行を組み合わせるⅡ</li> <li>16 スキーを揃えて滑る 整地・コブ斜面</li> <li>17 リズム変化 状況対応能力の強化Ⅰ</li> <li>18 リズム変化 状況対応能力の強化Ⅱ</li> <li>19 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅰ</li> <li>20 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅱ</li> <li>21 バッジテスト</li> <li>22 初歩動作から一人すべり スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー</li> <li>23 ノーズドロップからの停止(ターンと停止)</li> <li>24 ターンの形、サイズ変更の基礎</li> <li>25 ターンの形、サイズ変更の応用</li> <li>26 リズム変化 斜度変化Ⅰ</li> <li>27 リズム変化 斜度変化Ⅱ</li> <li>28 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅰ</li> <li>29 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅱ</li> <li>30 バッジテスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学総論
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業回数	30回
授業概要	ヒト・モノ・カネ等の資源を集め、消費者に受け入れられる製品を生産するため、企業がいかに行動すべきかを研究する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業の仕組みや組織戦略などを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 アメリカ経営学説①</li> <li>3 アメリカ経営学説②</li> <li>4 アメリカ経営学説③</li> <li>5 組織構造論①</li> <li>6 組織構造論②</li> <li>7 組織構造論③</li> <li>8 組織文化論①</li> <li>9 組織文化論②</li> <li>10 組織文化論③</li> <li>11 コンフリクト論①</li> <li>12 コンフリクト論②</li> <li>13 動機付け理論①</li> <li>14 動機付け理論②</li> <li>15 リーダーシップ理論①</li> <li>16 リーダーシップ理論②</li> <li>17 確認テスト</li> <li>18 経営戦略論の基礎概念</li> <li>19 多角化戦略</li> <li>20 国際化戦略</li> <li>21 競争戦略①</li> <li>22 競争戦略②</li> <li>23 経営戦略の展開方式①</li> <li>24 経営戦略の展開方式②</li> <li>25 技術経営①</li> <li>26 技術経営②</li> <li>27 経営戦略論の学説史</li> <li>28 日本経営と日本の企業グループ</li> <li>29 コーポレートガバナンス論</li> <li>30 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング研究
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	240時間(8単位)
授業回数	120回
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習し、事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得し、具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足 マーケティングの必要性 情報収集と分析 流通チャンネル プロモーション 5 財務知識 店舗データの理解 マーケティングの流れ 売上構成分析 来店客分析 商品分析 60 費用分析 61 課題抽出 店舗データの理解 マーケティングの流れ 売上構成分析 来店客分析 5 商品分析 費用分析 課題抽出 アンケート調査分析 企画作成 様々なマーケティング 120 プレ卒業研究
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	